

令和7年度 第2回 岸和田市観光振興計画推進委員会

1 日時 令和7年9月3日（水）午前10時～午後0時

2 場所 岸和田だんじり会館1階会議室

3 出席者

【学識経験者】石田信博、徳山美津恵、佐野楓

【公共的団体の代表者】阪口寿子、西村令子、中井秀樹、山本義治、藤浪勝三

【関係団体の代表者】塩見正成、田邊真、杉田精教

【オブザーバー】小嶺 大輔、古岩沙紀

【欠席者】上田貴司、西崎玲圭

【事務局】船橋魅力創造部長、井上観光課長、有留担当主幹、西村担当長、甲地主査、
出口担当員

【傍聴者】 0名

次第

1 開 会

（1）部長挨拶

2 議 事

（1）令和7年度実施事業の進捗について

（2）令和8年度実施事業 意見とりまとめについて

（3）令和8年度中間精査 意見とりまとめについて

（4）その他

3 閉 会

配布資料

○次第

○配席図（資料①）

○観光振興計画推進委員会委員名簿（資料②）

○令和7年度実施事業の進捗（資料③）

○令和8年度実施事業 意見聴取シートとりまとめについて（資料④-1）

○令和8年度中間精査 意見聴取シートとりまとめについて（資料④-2）

○令和7年度観光振興計画推進委員会スケジュール（資料⑤）

1 開会

(1) 部長挨拶

2 議事

(1) 令和7年度実施事業の進捗について

●事務局

資料③をもとに、令和7年度実施事業の進捗について報告
(意見なし)

(2) 令和8年度実施事業 意見聴取シートとりまとめについて

●事務局

資料④及び④-1をもとに、基本方針ごとにシートの説明と、それに対する事前の意見と回答をご報告

① 基本方針1のプロモーション強化を報告(シート1～5)

●委員 (F)

だんじりラッピング車両はかなり費用が発生するので難しいのでは。南海岸和田駅、JR 東岸和田駅で定期的にだんじり囃子を流すのはどうか。以前、別の自治体では音楽を流していたことがあった。

●委員 (J)

ラッピングの仕様によるが、費用はかなり発生する。どれだけの期間ラッピングをするのかまた、費用対効果をしっかりと見極める必要がある。駅での放送は実現可能かと思う。手動操作になるので常時は難しいが、音源さえあれば電車到着時に定期的に流すことはできるので実現の可能性は高い。

●事務局

ぜひ実現に向けてお話しを伺いたい。

●委員（J）

他でも同様の案が出たことがある。実現の可能性は高いかと思う。

●委員（G）

ラピートや特急はるかなど、岸和田を通過する観光主眼の列車でのアナウンスを流すなど、普段岸和田市を通過している層へ訴えるのはどうか。外国人観光客も多いと思われる。

●委員（I）

大阪商工会議所のグレーター南推進委員会 合同会議で南大阪の観光振興を官民で進めていこうとの話があった。市町がバラバラに動くのではなく、連携と継続が必要との意見があった。広域で連携するプロモーションを願う。

●事務局

複数の市でも連携できるよう泉州地域を取りまとめている KIX 泉州ツーリズムビューローに多様な働きかけを実施し、引き続き取り組みを推進していく。

●委員（D）

民泊について撤退という話が他の自治体であったが、岸和田市はどうするのか。

●事務局

民泊について現在のところではあるが現状維持。民泊の補助金は特区民泊を対象とはしていないが、特区撤退となれば整合性図る必要がある。

② 基本方針2の観光コンテンツの強化を報告（シート6～9）

●委員（J）

大阪府が湾岸ルート作っていたとおもうが、盛り上がりはどうか。

●事務局

大阪府都市計画局が主体でルートを作成している。今後更なるPRに向けて協議していきたい。

●副委員長

しまなみ海道でもコロナ後を中心に盛り上がりを見せている。今治市では、ヘルメット着用率も高い。サイクルは健康にもビジネスにも繋がる。サイクルルートを走ってみることが大切。広域の中の岸和田のルートとしても発信していくことが大切ではないか。

●事務局

しまなみ海道のサイクルが成功するまで 10 年かかったと直接話を伺った。自転車で通過してしまうところのように周遊して地域にお金落としてもらうのが難題であった。サイクルは周遊の手法としてはいいと思ってる。

道が整備されていないなど課題はあるが、安全に周遊いただけるように努めたい。

●委員（G）

手ぶら観光の先にサイクル散策があるというようなプロモーションの考え方も必要。

また、岸和田競輪場を観光施策に組み込むことはできないか。住之江競艇では観光コンテンツに組み込むことを考えている（有料観覧席の活用等）。

●事務局

岸和田競輪場は観光として魅力的だと感じている。今年度も開催予定の岸和田ファンミーティングで岸和田に競輪場があることを知ってもらえることを期待できる。普段立ち入る事ができない競輪バンクを走れることは自転車ファンにかなり刺さるコンテンツだと考える。海外ではなじみのない競輪だが、まずは観光をきっかけに知ってもらい、競輪場に誘導できるよう取り組みを始めたい。

●委員（F）

小学生・中学生を巻き込んだ家族で楽しめるコンテンツとして磨き上げてほしい。岸和田城も活かしてほしい。

●委員（A）

交通弱者の記述について共感。事業者との連携だけでなく MARS と連携をするのはどうか。観光施設の入場券と交通チケットを一括で入手できるようなものがあれば周遊しやすいのでは。ユニバーサルツーリズムといった取り組みで誰でもスムーズに移動できる仕組みが進めば更に良くなる。

●委員（D）

BMX コースは小学生から使えるが知られてない。

費用対効果も考えながら事業を進めていく必要がある。

●事務局

他課との連携等できるところから取り組みたい。認知度向上のプロモーション取り組んでいるが、「知られていない」という壁が大きい。岸和田城も令和 12 年に耐震化され観光施設として生まれ変わる。どう PR していくべきか委員会からも意見頂きたい。

●副委員長

1 か月住み込み、だんじり祭りを体験するのは具体的にどういった事をするのか。全国で存続の危機に瀕している祭があるが、細かく祭の準備について手伝ってもらえないかなど発信し、新たな担い手（移住者・観光客）が関われる・応援できるしくみを取り組んでいる祭りもある。

●委員長

岸和田のだんじり祭は祭礼町会等組織が確立されているので、準備面はあまり心配ないと思う。それよりも資金面が課題である。

●委員（C）

ワールドマスターズゲームでの PR はどう考えている。

●事務局

関西全域で5万人が来場する想定。競技者にも岸和田へ訪れてもらえるような PR していく。関西国際空港が近いという優位性を活かし、通過点になってしまわないよう取り組みたい。

③ 基本方針3の受入体制の整備・充実を報告（シート10～12）

●委員長

いろんな方策を考えられているが、なかなか知られていないという課題がる。

●委員（C）

ロッカー位置などの告知状況は。

●事務局

コインロッカーで把握できているのは駅に設置されているもの、だんじり会館での荷物預かり事業くらい。他でも設置しているかもしれないが市では把握できていない。

●委員（G）

今年は、宿泊税を活用した手ぶら観光を推進している。MAP 上で預かり事業を実施しているところを表示する仕組み。外国人の「預かり」に対する抵抗感の払拭を目指したい。

●委員（B）

だんじり会館にもコインロッカーを設置している。大きな荷物の預かりはだんじり会館、ま

た観光交流センターでも行っている。

祭礼時にも預かりは行っているが、スペースにも限りがあるので積極的な預かりサービスは難しい。

（３）令和８年度中間精査 意見とりまとめについて

●委員長

観光振興計画について、市民にどれだけ知られているのか、浸透しているのかを検証する必要があると考える。

●事務局

これまでは施設での調査、インターネット調査にとどまっていた。中間精査で観光動向調査を実施していきたいと考えている。ご意見あれば頂戴したい。

●副委員長

住民に対し観光がどう受け入れられているのかを検証する必要がある。（住民が観光客もつと来いと思っているか、もう来なくていいと思っているのか など）

●事務局

市民意識調査を実施しているので、関係部署に確認し活用していきたい。

（４）その他

（意見なし）

●委員長

- ・ 本日の推進委員会を閉会する。